

令和8年度トピックス研修「“その時”に動ける地域へ
ー平時からのつながりと行動変容でつくる防災力ー」

南部保健所
新任期×中堅期ブラッシュアップ研修

【災害時受援に備えた地区診断シートの作成】

～チームでの活動・取組み現状について～

戸田市福祉保健センター保健政策・感染症対策担当

主任保健師 前川美紗子

地域アセスメントに関する情報

ヘルスアセスメントに関する情報

リソースアセスメントに関する情報

地域特性共有シート

R 年 月 日現在

発災時に想定される課題

【基本情報】

【被害想定】

【地域の健康課題】

【地域のメンタルヘルスの健康課題】

【保健師に関する情報】

【保健活動拠点】

【民生・児童委員】

【交通】

【地理・地形・気温・ 災害弱地域】

【避難所情報】

【要配慮者情報】

【住民の防災意識】

【備蓄状況】

【自主防災組織】

【町会・自治会】

【保育・教育】

【医療機関情報】

【災害履歴、地域の風土・慣習】

【住民の健康管理行動の 特性】

【地域の強み】

【地区組織活動】

【災害協定締結先】

【通信機器】

【地域アセスメ ントの課題】

【ヘルスアセス メントの課題】

【リソースアセス メントの課題】

現在までの取り組み

5月11日 初顔合わせ、役割分担

5～6月 各自作業

6月中旬 共有会(対面)を実施

6～8月 メール等で共有・作業

8月19日 ◆中間報告会◆

◎ファシリテーターの役割

- 司会進行
- 作成物とりまとめ及びメンバーへの展開
- 進捗状況の確認や把握

※メールや、チャット機能（戸田市職員間）を活用

• 相談、提案など

▶必要な情報の提供や提案しながら一緒に取り組む



今後の取り組み

5月11日 (キックオフ・初顔合わせ) 自己紹介、役割分担

5～6月 各自作業

6月中旬 共有会(対面)を実施

6～8月 メール等で共有・作業

8月19日 ◆中間報告会(南部保健所)

8～10月 各自作業

9月中旬 対面にて共有会を実施

11月20日 ◆最終報告会(南部保健所)

12月 完成



ブラッシュアップ研修を通しての学び

- 南部保健医療圏3市で情報共有・情報交換ができた

- 保健師間の「顔の見える関係」が構築された

- 情報収集・整理のスキルが身に付いた

- 戸田市の地域特性について理解が深まった



チームで地域の特性や災害時の課題について
共通認識することができた

今後の研修における課題

- ・顔の見える関係から、相談しやすい関係性を目指す

→活動方法について、オンラインを含めた対面の機会も検討

- ・災害時における保健師(職員)としての役割・動きを理解する

→まずは、所属における自身の役割について理解を深める

- ・庁内連携

→地区診断シート作成を通して、他課との連携を深める

- ・地区診断シートについて

災害を視点とした情報の整理、地区毎の特性などを落とし込む

→本日の研修で得た知識をチームに持ち帰り、多角的な視点で、必要な情報を収集・整理する

